大阪 歯科
保険医新聞
6/5
2015年第1204号
（毎月5、15、25日発行）
大阪府歯科保険医協会
発行人　志岐　敬
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円　月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

# 第52回定期総会を開く

## 2015・16年度の活動方針決める

## 14年度決算・15年度予算を可決

協会は、第52回定期総会を5月24日、大阪市内で開き、活動方針や予算をはじめとする1号議案から5号議案すべてを全員の賛成で可決した。

小澤力理事長があいさつし、「安倍政権の社会保障改悪、戦争する国づくりを許さず、憲法の理念に基づく平和と社会保障の充実、国民生活の安定を」と訴えた。総会後は、東北大学大学院歯学研究科教授・江草宏氏の記念講演「再生歯学の最先端～iPS細胞が可能にする歯科医療とは」を開き、106人が参加した。

（2面に関連記事）

1号議案「情勢、2013・14年度活動のまとめ、15・16年度活動方針案」について報告した戸井逸美副理事長は、質の高い歯科医療提供体制と安定した医院経営の実現へ向け、「国民生活の向上と社会保障の充実なくして歯科医療の改善はない」と呼びかけた。

2号議案「14年度決算報告案および14年度監査報告」、3号議案「14年度収支差額処理案」、4号議案「15年度予算案」について三井泰正副理事長が報告した。

参加者から保険医年金、休業保障加入者の人数を求める意見やマイナンバー制度にかかわる会員への情報提供を機関紙で求める要望が出され、小澤理事長、三井副理事長がそれぞれ答弁した。

5号議案では事務局長、名誉役員について、辻本勝副理事長が提案。貴島正彦副理事長が評議員会で選出した理事・監事を報告した。各議案を審議の上、全員一致で可決した。平川光彦氏（吹田市）が議長を、張村善紀氏（堺市）が副議長をそれぞれ務めた。

江草氏による記念講演の後は、会員4000人達成を祝ってレセプションを開いた。

（記念講演は次号に詳報）

2年間の活動方針を決めた第52回定期総会
＝5月24日、大阪市内

## 医療改悪法を可決強行

### 患者負担増を押し付け

医療保険制度改悪法案が5月27日の参院本会議で可決が強行され、自民・公明・維新・元気・次世代・新党改革の賛成多数で成立した。民主・共産・無ク・生活・社民などが反対した。

同法は、▽国保の都道府県化による保険料増▽入院食費の負担増▽大病院受診時の定額負担▽患者申し出療養の創設――など、患者負担増政策が並ぶ。消費税増税の一方で、社会保障費削減路線を強行する内容になっている。

#### 国会要請で負担増の撤回を迫る

同法の参議院審議のさなかの5月21日、保団連の中央要請行動があり、大阪歯科から江原、杉本、段野、中西、森各理事、志岐事務局長が参加し、参院厚生労働委員会の参考人質疑傍聴、地元選出国会議員要請、「廃案しかない！医療保険制度改革関連法案」国会内集会への参加と、終日行動した。

参院議員10人に新たな患者負担増の中止などを求める会員署名443筆を持って法案の徹底審議と廃案をアピール、8議員秘書と面談した。「新たな患者負担増をやめ窓口負担の大幅軽減を求める請願」署名は321筆を清水忠史衆院議員（共産）を通して国会に提出した。清水議員は、「残念ながら衆議院は通ったが、改悪をストップするために全力を尽くしたい。軍拡を止めれば社会保障予算も出てくる」と応じた。

議員・秘書には5月31日の保険でよい歯科医療を大阪連絡会総会へのメッセージを要請、6月4日の「歯は命　健康長寿社会にむけて保険で良い歯科医療を」行動における面談を要請した。

国会内集会は、保団連が事務局団体を務める「いのちまもるヒューマンチェーン会議」が主催、住江憲勇保団連会長は、「安倍政権は拙速な審議で関連法案の採決を狙っている。安保法制を整備して戦争のできる国をつくるために社会保障を削っているということだ。なんとしても阻止を」と訴えた。

◇

【面談議員】清水忠史衆院議員（共産）

【要請議員】（いずれも参院・秘書対応）柳本卓治（自民）、尾立源幸（民主）、山下芳生（共産）、北川イッセイ（自民）、山本香苗（公明）、辰巳孝太郎（共産）、杉久武（公明）、太田房江（自民）

敬称略・順不同

## 5・17住民投票を受けて

### 自治体の「宝」守った 大阪市民の歴史的勝利

理事長　小澤力

大阪市の廃止・解体の是非を問う住民投票で市の存続が決まったことを受け、小澤力理事長は5月18日、談話を発表した。全文は次の通り。

大阪市を廃止し、五つの特別区に分割することを問う住民投票は、市民の「反対」の声によって否決となった。「大阪市をなくしたらあかん」「地域の医療・福祉を守ってほしい」と市の存続へ力を尽くした市民・会員に心から敬意を表すると共に、感謝を申し上げたい。

協会は、大阪維新の会が「大阪都」構想を打ち出して以降、大阪市から財源・権限を奪う同構想の実態を街頭宣伝や機関紙報道を通じて明らかにしてきた。住民投票の実施決定後には、歯科医師アピールを発表。会員に「反対」を呼びかけた。

同時に、福祉団体、医療団体、業者団体などと共同して〝草の根〟の「反対」運動を展開。自民党や民主党、共産党など政党間の垣根も越え、民の頭越しに開かれた官邸主導の密室の会議があった。憲法改定で維新の協力を得たい政府の意向が報じられていることからも、今回の審判は安倍政権にも大きな打撃を与えた。

一丸となって維新政治に対峙した。「大阪市存続」へ立ち上がった市民の歴史的な勝利である。

議会で一度否決された同構想が息を吹き返した背景には、大阪府民・市民共事業の推進――などの実態を指摘。わけても、市の国保・介護行政が、住民の声が及ばない「一部事務組合」に移管されることを問題視。地方自治を踏みにじり、医療・福祉の後退につながることを繰り返し訴えてきた。

市町村にとって、「宝」といえるものが三つある。「財源」と「権限」ともう一つ、住民と自治体が築き上げてきた「地域の安心と安全のネットワーク」だ。普段は〝空気〟のように意識することはないが、守り抜かねばならない自治体の財産だ。大阪市学校歯科医会や同市住之江区医師会が反対を表明したのは、壊すに易く、築くに難いこの宝を同構想から守るために他ならない。

協会は、今後も自治体の「宝」を大切にし、さらに発展させるために全力を尽くす。そして、政治の立場を超えて広がった共同の力を活かし、市民の暮らしを第一に考える市政改革の実現へ大阪の新しい政治を切り開いていく決意を表明する。

新規・増口申し込み受け付け中
保険医年金
6/25 締め切り
予定利率 1.259%
（2014年10月1日現在の最低保証利率）
〈月　払〉1口1万円・通算30口まで
〈一時払〉1口50万円・毎回40口まで
※加入は満74歳までの会員
※月払増口・一時払は満79歳まで
お問い合わせは共済部（06-6568-7731）へ

### 歯界

EU離脱を掲げる党派が進出し、ヨーロッパ中が注視する中で、イギリスの選挙が政権与党の勝利で決着した。だがスコットランドの独立は問題の先送りで、再び国民投票がありそうである。

議論で決着の付かない課題は住民投票や国民投票で決めるのが近代国家である。ナポレオン3世は選挙で大統領になり、叔父に次ぐ2人目の皇帝にまでなった。その後、短期間に政変を繰り返し、第5共和制の現在は国家と国民の連続的な試行錯誤の結果である。

投票ですべての方向が決まるから宣伝が最優先になり、分立している3権に次いでマスコミが第4権として強力になってきた。それも新聞からラジオへさらにテレビにとメディアが変化する。

かつて軍部がドイツのゲッペルス宣伝相から学んだみたいに、いま日本の権力はアメリカ風のプレゼンテーションを真似たりSNSの活用を模索したりしている。難しいが国民がそれ以上に学び賢くなるしかない。

### 今日の数字

**2051万件**

「宙に浮いた年金」の件数（2014年9月時点）。未解明のまま政府の審査委廃止へ。